

報告第12号

株式会社淡路島パルシェの令和7年度決算書類の提出の件

株式会社淡路島パルシェの令和7年度決算書類について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり提出する。

令和8年9月1日提出

淡路市長 戸 田 敦 大

令和 7 年度事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)

【総論】

今年度の来館者総数は 185,546 名（前年度同期比 103.8%）、内訳は香りの館 86,214 名（101.6%）香りの湯 99,332 名（105.8%）、純売上高は 184,119,944 円（税別・前年度同期比 104.3%）であった。来館バス台数については、524 台（前年度同期 448 台）、部門毎の純売上高は、物販事業前年度同期比 94.1%、栽培事業 91.6%、ファーストフード事業 98.3%、加工体験事業 107.9%、温泉事業 115.2%、宿泊事業 100.5%であった。

2025 大阪関西万博が開幕し、大阪へ来られた方に兵庫そして淡路島まで足を延ばしていただこうとした取り組みである、ひょうごフィールドパビリオン、AWAJI 島博に香りの手作り体験を登録していたが、上半期の期間内では今一つ結果が出なかった。しかし 10 月以降の下期になると、観光バスでの団体様をはじめ、来館者数が大幅に伸び、好調に推移したことから、万博終了後のアフター万博への大きな宣伝になったと受け止めている。

直面している課題である働き手不足とコスト高に加え。夏場の気温の上昇による、体調不良、作業ペースの低下、冷房の使用頻度増による電気コスト等、暑さ対策も今後の課題である。

働き手不足については、6 名のパートタイマーを採用（退職者 3 名）、コスト高については重油、電気をはじめ、原材料、最低賃金の引上げ等経費の殆どが高騰しており、これまで宿泊料金、手作り体験、カフェメニューを値上げしているが、更なる値上げを検討する必要がある。

施設の老朽化対策も大きな課題であり、長期的な修繕計画が必要である。

【各部門の事業内容】

1. 物販事業（特産館・和食処「かおり」での物品販売事業）

売上は 40,823,333 円（税別・前年度同期比 94.1%）であった。コロナ禍以降、隣近所にお土産をというお買い物が少なくなり、調味料、芳香剤をはじめ、ご自身で消費される物が良く売れる傾向が見られ、この傾向は今後も続き、以前のようにレジ袋を両手に下げてという状況には戻ることはないと考え品揃えの見直しを進めている。特に線香商品の売上は大きく落ち込む事無く、根強い需要があり、今後の品揃えの参考材料である。

2. 栽培事業

売上は2,499,843円(91.6%)であった。異常気象ともいえる猛暑と大雨などに悩まされることが多くなり、屋外の植栽計画については気候の大きな変動を視野に入れた対策が必要となっている。猛暑による従業員の体調管理も重要であり、6月1日から熱中症対策の義務化が施行され、屋外作業担当者へファン付き空調作業服を支給した。

スタイレム瀧定大阪㈱と進めているリサイクル培地アグリラボについては、様々な植物の栽培試験を行ってきたが、現在は利益を求める体制に舵を取り、主な栽培品種を昨年からのローズゼラニウムとハッカに加えラベンダーのスペースを拡大し、精油の商品化を進めている。

お花摘み体験については、一昨年6月のラベンダー以降の摘み取り料金を値上げした。値上げが原因なのか、猛暑で屋外での行楽を避けられたのか、原因は把握できていないが全体的にお花摘みの利用者数が落ちている。屋外でのお花摘み体験はパルシェへの来館の動機付けとしての役割が大きく、引き続きお花摘み利用者を増やせるよう、SNSでの発信を増やし、より美しく開花する栽培方法の工夫に取り組む。

《今期の摘み取り体験の実績》

- ・ カレンデュラ：4/1～5/22 10本 200円
売上 19,549円(名) 前年 21,761円(108名) 前年比 89.8%
- ・ カモミール：5/1～6/1 小袋 200円
売上 17,329円(86名) 前年 46,393円(231名) 前年比 37.4%
- ・ ラベンダー：6/5～7/1 20本 200円
売上 73,563円(357名) 前年 112,034円(560名) 前年比 65.7%
- ・ ヒマワリ：8/6～8/23 5本 200円
売上 10,024円(50人) 前年 43,499円(217人) 前年比 23.0%
- ・ 千日紅：8/24～10/5 20本 200円
売上 42,637円(228名) 前年 24,283円(121名) 前年比 175.6%
- ・ コスモス・メキシカンセージ：10月22日～11月25日 30本 200円
売上 45,614円(228名) 前年 63,803円(319名) 前年比 71.5%

3. ファーストフード事業

売上は12,875,487円(98.3%)であった。カフェに改装して10年が経ち、マンネリ化が課題であり、既存メニューの改良と新メニュー開発に試行錯誤を重ねている。和食洋食共にレストランを休業していることから、パルシェ施設内唯一の食事場所という事もありメニューの充実を図り売り上げアップにつなげたい。主力メニューのソフトクリームの売り上げが7,650,490円(前年比98.6%)、ハンバーガーは売り上げ2,992,546円(前年比96.8%)であり、この二つの看板メニューを中心に、近隣のC a f eメニューとの競争に負けない商品開発と、広告宣伝に取り組んでいる。

4. パルシェマルシェ事業

出荷農家の高齢化により生産力の低下、品揃えの不足が大きな問題となっている。定番商品の玉ねぎでも、需要に対して入荷量が足りていない状況にあり、品揃え豊富な農家さんとの契約を模索しているが見つかっていない。

5. 特産開発事業

特産開発事業は、パルシェオリジナルの商品開発を主とした事業で、売上は4,330,548円（133.0%）であった。昨年の7月から販売を開始した除菌・消臭・ウイルス除去スプレーSuu HERBAL LABの内、淡路島ラベンダーは9月で初回生産の300本が完売となり再生産した。

オリジナルの新商品開発では、榊香寺ハーブガーデンへ商品化を依頼している、月桂樹の精油やフローラルウォーターを材料とした、ハンドケアスプレーとバームの商品化が進んでおり、2026年度中の発売を目指している。

他社に運営委託していたエッセンシャルオイルSuuの通信販売を直接運営に切り替え、売り上げは254,441円であった。

6. 加工（体験）事業

売上は50,117,691円（107.9%）。下期に入って観光バスでの団体様のご利用が急増し、前年を大きく上回る客数となった。客数の内訳では、一般の方が前年比106.2%、団体旅行での利用が前年比133.8%である。

体験メニュー毎に比較すると、前年比20%以上伸びているメニューがあれば、逆に20%以上落ち込んでいるメニューもあり、料金改定も含め、体験内容の見直しが必要と考えている。雑貨売り場では、商品の配置換えを行い、期間限定イベントで夏休みにはサマーイベント、秋には千日紅リース作り、12月にはクリスマスグッズ作りのイベントを開催した。

調香事業は、クライアント様のイメージされている香りに調香する事業で、徐々に注文が増えてきており、アクアイグニス淡路島様、あわじ里山プロジェクト様から注文を頂くなど企業間のパートナーシップ構築を進めている。

7. 温泉事業

入浴者数は96,868名（宿泊客2,464名を含む・105.9%）、売上は45,115,296円（115.2%）であった。年間の会員様（121名）をはじめ、常連様の高齢化が進んでおり、高齢化、体調面、運転免許を返納した等の理由で来館されなくなる方が増加傾向にある。逆に、周辺環境の変化によるとみられる、若年層の利用者が増えているように感じており、若者をターゲットとした、クーリッシュの湯、パインアメの湯といった変わり湯をはじめ、しょうぶ湯、ラベンダーの湯、ゆず湯、バレンタインチョコ風呂等季節感と話題性のあるイベントを行い、新たなサービスデーとしてキッズデー、お誕生日無料デー

を設けた。

夏休みには、多賀の浜海水浴場に宣伝看板を設置させていただき、駐車場チケットの裏面にはタオルプレゼント券を印刷していただき 201 枚の利用があった。

施設の老朽化と、重油価格の高止まり等経費の高騰が収支を大きく圧迫している。老朽化については、市のご理解のもと、徐々に修繕が進んでいるが、配管からの漏水をはじめ、次から次へと修繕箇所が発生する状況は続いている。

8. 宿泊事業

宿泊者数 2,464 名（99.2%）売上は 16,650,950 円（100.5%）であった。

ご宿泊のお客様は、阪神間からの方が圧倒的に多いが、関東、東海方面からの方も徐々に増えており、淡路島が注目されていることがわかる。

宿泊担当スタッフの新規採用が実現し、週末に限定していた宿泊の受け入れ日を拡大することができた。

温泉同様老朽化が進んでおり、修繕について市との協議を重ねている。

9. 香りの公園

公園管理に加え、香りの公園を愛でる会事務局の運営を行っており、会員の更新手続き、体験の実施、総会の開催、案内状の送付、会計業務を行った。公園管理については、倒木の危険性等安全面の確認に加え、目新しい部分を作ろうと試行錯誤している。

淡路市の観光イベントである「謎解きぶらリゾートスタンプラリー」の謎の設置場所選ばれた。これに合わせ、古くなっていた園内マップをリニューアルし、またイベントの答えに関係する東西の東屋に看板を設置し、謎解きイベントに対応できるようにした。

10. イベント、広報活動

・季節のお花摘み体験

カレンデュラ・カモミール・ラベンダー・ヒマワリ・千日紅・コスモス

・ラベンダーフェア（6月）

・島内施設への営業活動

・雑誌・ネット等への掲載継続

じゃらん・るるぶ・まっぷる・淡路島ウォーカー・まるはり・関西ウォーカー等

・あわじ旅すごろくのスタンプ押印施設・賞品提供

（すごろく賞で、ハーバリウムキット 5 名様分を提供）

・ぶらっと淡路島への掲載（通年）ならびに、クーポンにも参加

（費用面を考え、枠を縮小し掲載。 クーポン：ソフトクリーム 50 円引き）

・島内観光施設・宿泊施設へのパンフレット配布

・淡路 S A にてパンフレット配布 月に 1、2 回（土・日・祝のみ）

- ・ SNS等での情報発信
- ・ じゃらん遊びネット、あそビュー・ウラカタ：加工体験のネット予約
- ・ いこーよ関西 手作り体験を中心にイベント情報をおでかけ情報サイトに掲載、発信
- ・ ふるさと納税広告への掲載（ご利用券・SUU）
- ・ 広報淡路への掲載（なるほど・ザ・あわじ4月号へのプレゼント提供）
プレゼント：ソフトクリーム・入浴券・ハンバーガーの3セットチケット10名様
- ・ デジタルでの情報発信強化（旅色・イベントバンク等）
- ・ 淡路市商工会共同チラシ掲載
- ・ 食品衛生月間普及啓発運動の協賛
- ・ Nosai ひょうごの宿泊割引券への応募、参加継続
- ・ わおマップへの掲載（道路地図）
- ・ 東武トップツアーズのとくとくクーポン優待（情報発信強化）
 - ・ 温泉入浴10%OFF
 - ・ ジェルキャンドル体験：100円引き
- ・ 淡路市生活観光バスの車内広告掲載
- ・ 淡路市商工会「うまいもんええもん情報」の投稿継続
- ・ 淡路市花卉切花品評会の開催（8/2・3）
- ・ 食のリレーイベント10/19
淡路島産いちじくのふるまい（約150名分全部振る舞った）
- ・ ひょうごグリーンツーリズムガイドマップに掲載
- ・ 県民農林漁業祭でのPRのため、パンフレット送付
- ・ ひょうごふるさと交流推進協議会の「ひょうご五国スタンプラリー」の押印施設ならびに賞品協賛 抽選プレゼント：アワジボタニカルソープ
- ・ 旅すごろくスタンプラリーの賞品「共通利用券」が使える対応をとる
- ・ 淡路島アンバサダーの就任・退任式のプレゼント提供
就任・退任各4名に、香水体験優待チケットを提供（SNS等に発信される）
- ・ スタイルムとのSDGs事案の展示を館で行っている
- ・ ストリートピアノの設置継続
- ・ はばたんPay・淡路市商工会ふれあい商品券（デジタル含む）対応
- ・ 淡路島おもしろマップの掲載継続（英語版にも参加）
- ・ すもとかわらばんへの協賛および放送
5月・3月に施設紹介の放送がある 入浴券（ペア入浴10名分）を提供
- ・ 温泉にて、
しょうぶ湯・ゆず湯（ゆず・かりん湯の振舞いも実施）、
季節に応じた変わり湯を実施（温泉事業報告に記載）
- ・ 多賀の浜・尾崎海水浴場に温泉の看板設置
- ・ 海水浴場駐車券裏面を使って、温泉の宣伝ならびに、タオルプレゼントを実施
- ・ 温泉の掲載ならびにクーポン付与

- ・ J A F ・ とくとかーポン ・ タイムズクラブ ・ リロクラブ ・ 消防団カード ・
ハッピーバック ・ アミカなど
- ・ 兵庫学校厚生会
 - 温泉 ・ 宿泊に使用可
- ・ 兵庫県 ・ 徳島県免許返納者：証明確認で、入浴代半額。
- ・ 阪神高速サービス（株）おでかけキャンペーンへの協賛
抽選プレゼントで、入浴券を提供（購入してもらう）
- ・ 兵庫県職員淡路支部の互助会への会員特典の協力
- ・ ファミリーパック特約店の継続
 - 温泉にて、カード ・ チケットを取扱いしている
- ・ 定期的に、館にて、押し花体験 ・ スノードーム ・ オルゴール手作り体験実施
- ・ 4/4 取材：eo 光テレビ「関西電力ケーブルテレビ」
番組名「ぶらっと旅気分」で温泉を放送 ネット配信番組
- ・ 淡路島ウェブスタンプラリー「島たま GO」への参加
- ・ ひょうごフィールドパビリオンへ線香組合と参加
 - 「香りに愛された島 AWAJI」がテーマ
- ・ AWAJI 島博への参加：お線香盆切りで参加
- ・ 大阪関西万博への参加：リサイクル培地で参加
- ・ 新年恋はじめ in 淡路島 2026（婚活イベント）で館が開催場所
- ・ 淡路市商工会の観光客限定「プレミアム付きデジタル商品券」使用可施設で登録
- ・ 香育授業で、一宮小学校 4 年生に授業
- ・ 3/28 林真一郎先生と行く 日本ハーブ療法研究会 in 淡路島 カレンダー講座を開催

第 1 4 期

決 算 報 告 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月 31日まで

◁

株 式 会 社 淡 路 島 パ ル シ ェ
(法人番号：4140001088843)

貸 借 対 照 表

代表者 石井 廣志

令和 8年 3月31日現在

(単位: 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I (資 産 の 部)		I (負 債 の 部)	
流 動 資 産 (	60,396,400)	流 動 負 債 (	23,795,944)
現 金 及 預 金	31,608,992	買 掛 金	9,385,163
売 掛 金	7,986,212	未 払 金	11,144,722
ク レ ジ ャ ー	196,600	未 払 法 人 税	185,000
棚 卸 資 産	19,593,114	未 払 消 費 税	2,831,700
前 払 費 用	412,940	未 払 受 取 金	216,000
前 払 入 金	201,380	未 払 仮 商 品	6,359
未 収 還 付 法 人 税	140,684		27,000
未 立 仮 貸 倒 引 当 金	4,486		
	31,381		
	250,611		
	30,000		
II 固 定 資 産 (	6,644,357)	II 固 定 負 債 (	0)
建 築 物	6,634,357)		
機 械 及 装 置	4,161,227		
工 具 、 器 具 及 備 品	1,252,750		
	1,087,721		
	132,659		
無 形 固 定 資 産 (	0)	負 債 の 部 合 計	23,795,944
投 資 そ の 他 の 資 産 (	10,000)	I (純 資 産 の 部)	
	10,000	I 株 主 資 本 (	43,244,813)
		1. 資 本 金	100,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (	0)
		3. 利 益 剰 余 金 (△	56,755,187)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金 (△	56,755,187)
		繰 越 利 益 剰 余 金 △	56,755,187
III 繰 延 資 産 (	0)	II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (	0)
		III 新 株 予 約 権 (	0)
資 産 の 部 合 計	67,040,757	純 資 産 の 部 合 計	43,244,813
		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	67,040,757

損 益 計 算 書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				金 額		
I	売 上 高	商 品 売 上 高	飲 食 売 上 高	45,334,741		
	宿 泊 売 上 高	・ 温 泉 売 上 高	・ 裁 培 ・ 加 工 ・ 受 託 売 上 高	12,950,971		
	売 上 値 引 戻 り 高			63,824,556		
				64,488,077		
				△	186,598,345	184,119,944
					2,478,401	
II	売 上 原 価	期 首 棚 卸 入 高	商 材 仕 入 高	23,945,034	14,729,954	
	合 期 売 上 棚 卸 入 高	材 料 仕 入 高	計 高	25,312,985	49,258,019	
		末 上 棚 卸 入 高	計 高		63,987,973	46,355,611
					17,632,362	137,764,333
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	管 理 費 失		161,526,100	161,526,100
						23,761,767
IV	営 業 外 収 益	受 取 配 収 当 金 入	雑 収 当 金 入		28,907	
					300	
					27,777,940	27,807,147
V	営 業 外 費 用	雑 損 失			2,624	2,624
	経 常 利 益					4,042,756
VI	特 別 利 益	貸 倒 引 当 金 戻 入 額			10,000	10,000
VII	特 別 損 失	固 定 資 産 除 却 損			6	6
	税 引 前 当 期 純 利 益					4,052,750
	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税				185,000	185,000
	当 期 純 利 益					3,867,750

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	金 額
給 与 手 当	21,383,196
給 雑 給	52,317,560
旅 費 交 通 費	53,292
広 告 宣 伝 費	1,691,904
研 究 開 発 費	13,485
発 送 配 達 費	655,342
支 払 手 数 料	5,547,026
報 酬 料 金	1,056,091
退 職 給 付 費 用	148,742
役 員 報 酬	720,000
従 業 員 賞 与	1,495,750
法 定 福 利 費	7,861,926
厚 生 費	1,395,946
減 価 却 費	1,315,080
地 代 家 賃	266,719
修 繕 費	7,034,457
事 務 用 消 耗 品 費	383,228
通 信 交 通 費	653,601
水 道 光 熱 費	20,378,135
租 税 公 課	211,611
寄 付 金	9,000
接 待 交 際 費	174,901
保 険 料	422,610
備 品 消 耗 品 費	7,135,830
燃 料 費	17,037,047
賃 借 料	1,057,832
委 託 費	10,510,842
諸 会 費	567,606
会 費	9,863
雑 費	17,478
合 計	161,526,100

棚 卸 資 産 の 計 算 内 訳

令和 8年 3月31日現在

(単位: 円)

科 目	金 額
商 品	5,971,627
原 材 料	11,660,735
貯 蔵 品	1,960,752
合 計	19,593,114

株主資本等変動計算書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

I 株 主 資 本		
1. 資 本		
当期首残高		100,000,000
当期変動額		0
当期末残高		100,000,000
2. 利 益 剰 余 金		
(1) そ の 他 利 益 剰 余 金		
繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高		-60,622,937
当期変動額		
当期純利益	3,867,750	3,867,750
当期末残高		-56,755,187
そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計		
当期首残高		-60,622,937
当期変動額		
当期純利益	3,867,750	3,867,750
当期末残高		-56,755,187
株 主 資 本 合 計		
当期首残高		39,377,063
当期変動額		
当期純利益	3,867,750	3,867,750
当期末残高		43,244,813
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0
III 新 株 予 約 権		
当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高		39,377,063
当期変動額		
当期純利益	3,867,750	3,867,750
当期末残高		43,244,813

△

個 別 注 記 表

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 其他有価証券

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価額30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

5. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 19,053,221円

2. 取締役等に対する金銭債務 50,000円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 2,000株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、21,622.40円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、1,933.87円であります。

以 上

△